

2012年3月1日

岩手県議会

議長 佐々木 博 様

請願団体 岩手県盛岡市本町通二丁目1-36

東日本大震災津波救援・復興岩手県民会議

代表世話人 東 幹 夫

三陸地域をつなぐ鉄道の堅持と早期復旧に関する要望書

【要望趣旨】

東日本大震災津波から1年になろうとしています。未曾有の大災害のもとで、三陸沿岸地域における復旧、復興のとりくみがすすんでいます。こうした中で、被災地の産業と生活に欠かせないJR大船渡線（気仙沼一盛間）、山田線（宮古一釜石間）は、いまだに復旧のめどがたっていません。

ところが、JR東日本の清野智社長が2月7日の定例記者会見において、バス高速輸送システム（BRT）の導入による仮復旧を検討し地元との協議をすすめるとの報道がされました。この突然の構想に対して、2月8日に開催された三陸沿岸都市会議で「三陸沿岸地域をつなぐ鉄道の堅持と早期復旧について」緊急決議を採択し、さらに2月9日には、達増知事と沿岸7市町の首長がJR東日本本社を訪問して、鉄道での早期復旧を要望しています。

三陸沿岸地域の公共交通機関であるJR大船渡線、山田線の鉄路がなくなることにつながりかねない事態に被災地住民のみならず県民はたいへんに憂慮をしています。

については、被災地の各市町の復興計画に基づいてJR大船渡線・山田線などの早期復旧が実現しますよう、下記要望事項も考慮していただき、政府及び関係機関に意見書の提出等を行うよう要望します。

【要望事項】

1. JR東日本に対して、達増知事とともに県議会も「BRTへの転換」発言は撤回し、断念するように申し入れること。
2. 三陸沿岸地域における公共交通機関の早期復旧をもとめるために、次のことを考慮して政府及び関係機関に意見書を提出すること。
 - ① JR大船渡線・山田線の早期復旧をはかること。
 - ② 被害が少なかった地域から早期に整備を行って運行の再開をめざすとともに、鉄道の復旧までの間の代替交通の確保を行うこと。
 - ③ 鉄道復旧のかさ上げやルート変更に伴う新たな負担については地元負担とならない支援策を早期に講ずること。
3. JR岩泉線の早期復旧をJR東日本および国に求めること。